

情報をちゃんと届けるには

団体の事業や活動を知ってもらい、共感や参加を促すには、広報についてしっかり考える必要があります。情報発信の手段だけでなく、どんな人にどんな内容を伝え、その後どうなってほしいのかまで想定することが重要です。

今回は、デザイナーやカメラマンなど多くの専

門スキルを持ったスタッフが在籍し、行政やNPO、地域団体など、さまざまな組織の広報に携わっている、NPO 法人九州コミュニティ研究所(以下、CRiK)の池田祐介さんにお話を伺いました。



とを目的に、組織に寄り添った二人三脚の事業を行っています。(http://www.crik.jp/)

【団体紹介】 NPO 法人九州コミュニティ研究所

「デザイン」をキーワードに、自治体やNPOなどさまざまな組織の広報に関わっています。広報を通じて、人と人、人と地域、人と文化に最適な関係性を生み出すこ

【事例】 NPO 法人九州コミュニティ研究所の取り組み 広報を通じて、関係性をつくる

CRiKにとって、広報とは「関係づくり」だといえます。チラシやホームページなどの媒体を通して、情報を伝えるだけでなく、受け手が親しみを感じたり活動に参加したりするなど、その後の関係性を生むことを目指しています。

このため、CRiKは他団体の広報に携わる際、ただ媒体を製作するだけの関わり方はしません。必ず、事業目的や課題をしっかりと確認することから始めます。そして、広報手段や関係づくりの仕組みを一緒に考え、二人三脚で取り組みます。

さらに、一つひとつのケースごとに『デザインの最適化』を意識しています。同じ「イベント周知」の広報であっても、主催団体や対象者、地域の特性により、広報手段や広報物のレイアウトなど、最適なデザインは異なるからです。

自団体で広報を考える際は、「誰に、何を」広

報して「どう変化させたいのか」を意識しましょう。媒体を作るときも、手書きの案をみんなで出しあい、形にすることで、団体の想いや、受け手の立場に立った広報物ができます。

ポイントは対象者を絞ること

チラシの手渡しや口コミの効果が高いのは、相手に合わせ、説明内容やアピールすることを選ぶからです。

このため広報を考える際は、どんな人に伝えたいか具体的にイメージすることが重要です。そうすることで、限られた文字数の中で優先的に掲載する内容や、目を引きそうなレイアウト、掲示場所などが決まります。逆に不特定多数に向けた広報物は、結果的に誰の目にも止まりにくいものになりがちです。



▲子どもが仮装のまちづくり運営する「ミニふくおか」では、広報物や空間演出をサポート。



▲四万十市の魅力を自然と人情の両側面からシンプルにアピールした広報物。

《旧志免鉱業所の歴史を学ぶ会》



▲紙芝居披露の様子。12月8日、シーメイトで開催されたイベントで初披露しました。小道具も団体メンバーで手作りし、練習を重ねました。当日はたくさんの来場者で賑わいました。

2008年発足以来、旧志免鉱業所の歴史を町民に広く伝えるために活動しています。これまで、各地の炭鉱を訪れ、研修や勉強会を重ねてきました。また、炭鉱かるたを作成し、町との協働事業で「志免町炭鉱かるた大会」も実施しています。

旧志免鉱業所は、上質な石炭が採れる国内唯一の国営炭鉱として、操業当時は多くの人でにぎわっていたそうです。しかし現在は、昔の炭鉱の姿や歴史を知る人が少なくなっています。

そこで今年度は、竪坑櫓の重要文化財指定10周年にあわせて、新たに紙芝居を作成しました。「子どもたちや県内外からの転入者に、町の歴史について、かるたや紙芝居を楽しみながら知って欲しい。」とお話しくださりました。歴史を伝えたい熱意が、新たな活動へと広がっています。

《志免町在宅ホスピスボランティアにじいろ》

2016年に「福岡県在宅ホスピスボランティア養成講座」を終了した有志が集まってボランティアグループを結成し、3年目を迎えました。現在は定期的に老人ホームを訪問し、傾聴活動を通してスキルアップをはかっています。

日本では、在宅医療のニーズは高いものの、「最



▲「在宅ホスピスボランティア養成講座 in 志免」の様子。

期は家で迎えたい」と思っても、家に帰れずに病院で最期を迎える人が多いといえます。これからの在宅

医療の現場では、医師や看護師、介護士などの専門家と共に、在宅ホスピスボランティアもチームの一員として在宅医療を支援することが今まで以上に期待されています。

団体では、町内の方や医療関係者に、まず団体の存在や活動を知ってほしいと考えています。そのため、今後は広報活動にも力を入れます。

日本語字幕付き映画上映会決定！
「ぼけますから、よろしくお祈りします」
日時：2020年1月25日(土)
1回目 10:00～ 2回目 13:30～
場所：シーメイトホール
料金：1,000円/人(高校生以下無料)
申込：☎ 092-986-8526 (デイホームたから)
✉ tanpopolucy0220@yahoo.co.jp

【対象と方法を考え実行する大切さ】

団体の活動を知ってもらうためや、団体の目的を達成するために、どのような手段が良いのか検討していますか。

「旧志免鉱業所の歴史を学ぶ会」では、志免鉱業所の歴史を、町の子どもたちや転入者に楽しみながら知ってもらいたいと思い、紙芝居を

作成し披露する方法を選びました。また、「にじいろ」では、自分たちの活動場所である、在宅医療の現場に関わる町内の方や医療関係者に向け、対象を絞った広報を計画しています。

2団体の取材を通じて、方法をしっかりと考えて実行する大切さを改めて感じました。